

にいがた労福協

<ライフサポートセンター>

No22 2015年 7月15日

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
e-mail:ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL http://www.niigataken-rofukukyo.com/
発行責任者 山田 太郎

新潟県労福協第34回定時総会

格差と貧困の是正をめざし、労働団体・事業団体の連携強化を！



一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

役員名簿

(任期 2015年～2016年度) 2015年6月18日 第34回定時総会

役職名	氏名	所属団体	役職名
理事長	斎藤 敏明	連合新潟	会長
副理事長	江花 和郎	労働金庫	理事長
副理事長	田才 栄敏	総合生協	理事長
専務理事	山田 太郎	労福協	専従理事
理事	斎藤 悅男	自治労	執行委員長
理事	小野塚 豊	JAM新潟	副執行委員長
理事	米山 哲也	連合新潟	副会長
理事	小熊 勇	交通労連	執行委員長
理事	小谷野いく	情報労連	特別幹事
理事	牧野 茂夫	連合新潟	事務局長
理事	土田 啓介	労働金庫	専務理事
理事	岡田 雅彦	総合生協	専務理事
理事	加賀 時夫	労信協	専務理事
理事	林 光弘	高齢協	事務局長
理事	村田 和也	労金財團	事務局長
理事	田代 隆	新潟地区	会長
理事	矢島 良彦	長岡地区	会長
理事	羽深 浩一	上越地区	会長
監事	諸橋幸太郎	連合新潟	副事務局長
監事	宝金 満	労働金庫	常勤監事
監事	関川 稔	総合生協	常務執行役員
(理事 19名 監事 3名)			
事務局長	(総務・国際交流) 大瀧 幸二	労働金庫	
事務局長	(LSC・県民生活) 小野塚勝一	総合生協	

6月18日（木）、新潟東映ホテルにおいて、県労福協第34回定時総会が103名参加する中で開催されました。昨年からの議論をふまえ、今年から労福協の定時総会とライフサポートセンターの通常総会を一体的に運営し、この1年の事業報告と2015年度の事業方針について全体の意思統一を図りました。

主催者を代表して、斎藤理事長から、①組織整備と体制強化、②特徴的な活動について、大きく2点にわたり挨拶されました。

この間、県と地区労福協の関係、地区労福協と地域ライフサポートセンターの一体的活動の推進など、さらなる運動の発展と強化を目指すための組織改革、新たに会員として加入された「ささえあい生協新潟」「新潟NPO協会」も含め全体で運動を進めいくこと等、表明

されました。また、事業の特徴的な動向として、①ライフサポート第二次5カ年計画に基づく評価・検証委員会を立ち上げ、今後のLSC組織と運動について検討していくこと、②本格実施となつた生活困窮者自立支援事業の地域間格差が生じないよう県とは連携を深め、その調整役を果たしていくこと、③ろうきん財団との連携事業である、「新潟福祉リーダー塾」「ワーク&ライフオーラム・セミナー」は3回（年）目を迎え、さらに充実を図りたい、④中国・韓国・ロシアの労働組合と長年にわたる交流実績もあり、日韓親善協会、日ロ親善協会の事務局や役員を担つており、政府間レベルの国交が不十分であるがゆえに、民間・地方レベル交流が重要であることなど、

＜新たに加入された団体＞

◇ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟・高見理事長(左)
◇非特定営利活動団体 新潟NPO協会・富澤常務理事(右)



新たな役員

理事 小野塚 豊
(JAM新潟)

**退任された役員**

理事 笹川 孝昭
(電気連合)



変化する社会の中にあって会員団体の皆さんと力を合わせ、県内に暮らす多くの人たちの支えとなる運動を推進していく決意が表明されました。

終了後、恒例の全体交流会が開催され、泉田県知事、篠田新潟市長をはじめ、多くの来賓の皆さんから激励に馳せ参じていただきました。

交流会では、新加入団体の歓迎と今回の定時総会を最後に退任された役員の労をねぎらい、新たな時代に対応しうる労福協運動の前進を全体で確認し散会となりました。

**地区労福協・地域ライフサポートセンター代表者会議**

2015年5月22日(金)、ガレツソホールにて、新潟県労福協第104回理事会を開催しました。報告事項では、「生活困窮者自立支援事業の受託(新たに10町村地域を対象に県から)」と「2015年度「寄り添い型相談支援事業(よりそいホットライン)」の受託」「今年度の国際交流事業」について確認されました。

協議事項では、6月開催の定期総会関連課題として、「特定非営利活動法人・新潟NPO協会の新規会員加入」、2014年度事業報告・決算報告、総会提出議案及び当日の運営等について確認されました。

終了後、昨

年の取り組みについて報告がされました。協議事項では、2015年度の事業計画について提案及び意見交換がされ全体会の意思統一が図られました。

その後の取り組みについて報告がされました。協議事項では、2015年度の事業計画について提案及び意見交換がされ全体会の意思統一が図られました。

その中でも、労福協とLSCの一体化について議論が集中し、これまで地区労福協と地域LSCの総会は、それぞれ個別に開催してきましたが、今年度の各地区総会では、LSC組織と理事会の解散、会員制の廃止等と合わせ、事業報告、決算報告、事業計画、予算等、一体化をめざしていくことが承認されました。

また、今後のLSC事業のあり方などについて検証する評価・検証委員会の設置についても確認されました。

**第104回
県労福協理事会****勤労者の暮らしをサポート育成会****(正式名称)**

「勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援・育成する会」

- 育成会は新潟労金に加入している団体会員(県内約2400会員)によって構成されています。
- 育成会には労金本支店所在地で活動する25の地区育成会があり、それぞれの地域で勤労者福祉の前進に関する諸活動を行っています。
- 育成会役員は各店舗ごとに設置された労金常任推進機構から選出されています。

夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない勤労者や退職者の方々



が、労金を利用する際に加入いただくメンバースクラブです。預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

<ご加入資格>

県内に居住または勤務する勤労者等

<ご入会手続き>

最寄りの労金本支店で手続きできます。

労金関係業務(育成会・夢咲Club)運営事務局 勤労福祉社会館内

連絡先 Tel 025(281)1188

E-mail:spp66tw9@samba.ocn.ne.jp

フードバンクにいがた第3回定期総会 記念講演『社会を支える人と食の輪づくり』



新潟市「クロスパルにいがた」において、「フードバンクにいがた」第3回総会が開催されました。「フードバンクにいがた」は、生活困窮者自立支援事業（旧パーソナル・サポート事業）の食糧支援を契機に、「さえあい生協新潟」「ワーカーズコーポ北陸信越事業本部」が発起団体となり、「フードバンクにいがた」の活動は、順調とは言えないまでも取り扱い規模は、スタート当初に比べ倍増しています。昨年度1年間の実績として、米を中心とした寄贈食糧は、9、678キロとなりました。

この数値は、1人1食500g換算での食品提供数19、356食となり、廃棄コスト1キロ500円換算で483万円の節約となります。このフードバンク活動は、食の分かれ合いや食品ロスの削減運動などならず、環境問題にも大きく貢献できる社会運動として位置づけることができます。また、地域のネットワークの中で支援する仕組みをつくっていくことにより、安心して暮らせる地域社会づくりに発展していくことにより、高い地域貢献活動です。



同時に、生活保護受給者の数が史上最高値を更新しているよう、貧困の問題は日本社会では大きな問題となつております。貧窮する人や支援団体へ食べ物を直接支援する仕組みをつくつて地域社会づくりにつながる大きな取り組みです。設立から今まで、フードバンクの活動を通じ改めて実感できることは、多くの企業や団体・個人、ボランティアの皆さんの支援と協力が不可欠であり、これから高齢化社会、人口減少社会における持続可能な地域社会の創造における、さらにネットワークとウイングを広げた活動の展開が不可欠のことです。

今日1日の食費が120円ならば、何を食べるか。ハンバーガー1個、それともおにぎり1個か。120円は、フードバンク山梨が支援している子どもいる世帯の1人1食分の平均食料だ。昨年、実施した「子どもの食生活調査」で、その貧困ぶりが見えてきた。

2010年から生活困窮世帯食糧を提供してきた。支援に使う食品はすべて市民や企業からの善意の寄付。それを箱詰めし家庭に届ける。「子ども1つのカップラーメンを半分して食べた」「1日に豆腐1丁しか食べさせられない時があり、子どもが空腹で眠れず夜中に台所で立ちすくんでいた」食生活調査には、

このような声が寄せられた。背後に子供たちの悲痛な声が聞こえる。しかし、その内容は学校の先生や友達には話せない……。

欠ということです。総会では、この1年の活動を振り返り、新年度の取り組みについて意思統一が図られました。その後、NPO法人フードバンク山梨・米山恵子理事長による総会記念講演が開催されました。

フードバンク山梨の活動は、クローズアップ現代（NHK）をはじめ、多くのメディアに取り上げられるなど、先進的な活動を展開されているフードバンクです。

（左記は講演から抜粋）

ご当地キャラ貯金箱 もれなくプレゼント

オリジナル

A レルビさん B ブリカツくん C ブラック番長

2015年6月22日㈪～2015年12月30日㈬

財形貯蓄、エース預金、おささま口座、普通預金口座を新規ご契約いただいた方、財形貯蓄またはエース預金の既契約の方で毎月積立金額を1,000円以上増額していただいた方。

※普通預金口座は今まで普通預金口座を引かれた方にあります。

新潟県労働金庫 0120-191-880 (平日9:00～17:00)

総合生協の夕食宅配 愛されて60周年 たすけあう心を大切に

新規お申込み 会員中!

ほほえみ膳コース

【標準料】 平日 月額 約500円	【標準料】 休日 月額 680円 (税込734円)	【豪華料】 月額 3,400円 (税込3,670円)
----------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

お問い合わせ・お申込みは「クルコールセンター」まで
0120-025-261 受付時間
9:00～17:00
一部お届けできない地域もございますので、あらかじめご了承ください。



2015年度全国研究集会 「持続可能な社会と若者の未来」

2015年度の全国研究集会が6月4日（木）～5日（金）の2日間、愛知県春日井市の「ホテルプラザ勝川」で開催されました。

政府は、「デフレからからの脱却」として大胆な経済政策を推し進めています。その具体策として、①大胆な金融政策、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略で、経済の成長を図ろうとするものです。

他方、この間、生活保護受給者は

増大するとともに、非正規労働者の増大、年収200万円以下の労働者も増大している中につれて、格差と貧困が拡大し、特に、子どもたちが貧困状態にあるといわれています。

貧困を生み出す原因を克服し、貧困の連鎖を食い止める政策の実行が求められています。

さらに、大学生の半数以上が利用している「奨学生」制度もさまざま問題を内包しています。

高卒者に対する就職難、教育費の高騰、生活困難等により、多くの学生が「有利子奨学生」等を借りざるを得ない状況です。しかし、その返済は、卒業後の雇用状況により、「返したくても返せない」若者が増大しています。

このことは、若者の貧困化にもつながるもので、「持続可能な社会」を危うくするものとなっています。

本研究集会では、「持続可能な社会」を実現するために、現在の子ども、若者の実態から貧困問題の克服すべき課題を焦点に「若者の未来」について考察されました。

（第1日目）

講演Ⅰ

テーマ「アベノミクスからの転換

と持続可能な社会への展望」

講師 高橋伸彰氏
(立命館大学国際関係学部教授)

講演Ⅱ

テーマ「地域社会から子ども・若者の貧困を考える」

講師 青砥恭氏
(NPO法人さいたまユースサポートネット代表)

（第2日目）

パネリスト

テーマ「貧困ビジネスと化した奨学生
苦悩する若者たち」

講師 大内裕和氏

(中京大学国際教養学部教授・奨学生問題対策全国会議議同代表)

（パネルディスカッション）

テーマ「深刻化する雇用劣化と奨学生問題の改善に向けて」

大内裕和氏 (中京大学国際教養学部教授)・村上陽子氏

連合非正規労働センター総合局長・宮崎豊和氏 (高校教師)

師 日教組)・
(中央労福協 副会長)



労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (2015年5月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高 (千円)
無担保ローン	38,271,537
住宅ローン	125,749,722
合 計	164,021,259

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18
一般財団法人新潟県労働者信用基金協会

第23回新潟県労福協 チャリティゴルフ大会



大会当日は、初夏の日差しと眩い新緑に恵まれたコンディションの中、参加者56名は持ち前の腕と練習の成果をいかんなく発揮され、それぞれにプレーを楽しめ交流を深め合うことができました。参加者の厚意により集まつたチャリティ金9万円は、労福協の寄付金等を合わせ、連合新潟を通じ東日本大震災への義援金として贈呈されました。ご協力ありがとうございました。



＜大会の上位入賞者＞

東コース優勝者	博昭文雄	新潟労金情報労連
西コース優勝者	恭則一彦	自動車総連
総合 準優勝	青山北村	新潟労金全自交
総合 第三位	小池伊藤	自動車総連
東ベストグロス	熊小藤	
西ベストグロス	文彦	

6月25日（木）ANAクラウンプラザホテルにて、新潟県労働金庫第63回通常総会が開催されました。

開会にあたり、新潟労金を代表して、江花理事長から、「労金と労働組合の関係が希薄となっている。労働者自主福祉運動としての労金運動を再確認し、労働組合との密接な関係づくりと一層の利活用を進めてたい。」「笑顔プロジェクトの目的は、労働組合との関係

を再構築し強めていく取り組みであること」「NPOや福祉関連団体の運動と連携し地域における共生を図りたい」など、挨拶がされました。

その後、4団体から来賓挨拶、20会員への事業表彰がありました。

（来賓）

◇新潟県産業労働観光部副部長

鍛持 修 氏

◇連合新潟会長

齋藤 敏明 氏

◇新潟県労連議長

佐藤 一弥 氏

△総合生協理事長
田才 栄敏 氏

新潟県労働金庫 第63回通常総会

議案審議では、第63期業務報告、2015年度事業計画の設定の件、定款の一部変更の件、役員補欠選任の件、退任役員に対する慰労金贈呈の件など、総会スローガンも含め全体の確認が図られました。

新潟市議・市民厚生常任委員会（7名）が視察訪問 フードバンクにいがたへ



7月13日、新潟市議団・市民厚生常任委員会のメンバー7名が「フードバンクにいがた」に視察訪問されました。

常任委員会は、県外のフードバンク施設への視察・研修を控え、事前学習として、地元で活動しているフード

バンクにいがたの現状や課題等、についてフードバンクの役員と意見交換を行いました。

会議の中では、新潟市への要望や政策立案に向けた連携などが検討されました。そして、市民厚生委員会としてこれからも連携・協力させていただくことやこれを契機に情報交換していくことが確認されました。終了後、市議団の一行は、フードバンク立上げの直接のきっかけともなったパーソナル・サポート・センターを視察され相談支援員への激励を行いました。

5年度から本格実施となつた生活困窮者自立支援事業として、「直江津学びの交流館」において、上越パーソナル・サポートセンターの第1回事業連絡会及び第1回支援調整会議が開催されました。

今回は上越地域の県・市の行政機関をはじめ、福祉協議会、NPO・相談支援活動団体など、約40名が参加し開催されました。会議では、委託団体である上越市（健康福祉部）から牛木福祉課長が代表され、法律に基づく制度の目的、概要等について挨拶も含め説明されました。

その後、4月からの相談受付状況（件数や特徴）や事例の報告、支援方針等について意見交換されました。様々な課題を抱えている相談者の支援は、行政をはじめとした地域の支援団体との連携が大切であることが改めて確認されました。

（水） 6月 24日
2011年
「直江津学びの交流館」において、上越パーソナル・サポートセンターの第1回事業連絡会及び第1回支援調整会議を開催されました。



（上越パーソナル・サポートセンター） 第1回事業連絡会及び 第1回支援調整会議を開催

生活困窮者自立支援制度がスタートしました！

生活困窮者自立支援制度とは！

2013年12月に生活困窮者自立支援法が成立し、本法に基づき2015年4月から全国の自治体で支援事業が展開されています。この制度の意義は、生活保護に至っていない生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」を拡充し包括的な支援を行うことがあります。

また、制度のめざす目標として、「生活困窮者の自立と尊厳の確保」、「生活困窮者支援を通じた地域づくり」においています。

生活困窮者の課題は、就労の問題、心身の不調、家計の問題、家族問題など多様で複合的に絡んだ事例が多く、「制度の狭間」に陥らないよう広く受け止め、個々人の状況に応じた適切な対応が求められます。

また、真に困窮している人ほどSOSを発することが難しく、それゆえに「待ちの姿勢」ではなく、早期に困窮者を把握し、課題がより深刻になる前に問題解決を図らねばなりません。

このように、新しい生活困窮者の支援のかたちは、包括的、個別的、早期の把握と本人の段階に合わせて切れ目なく継続的に支援を提供すると同時に、事業の主役は地域社会であり、国と自治体の責任の下、官と民、民と民が協働し、地域の支援体制を創造することにあります。

新潟県労福協の取り組み

新潟県労福協は、平成24年度（2012年度）から内閣府所管の「第三次パーソナル・サポート・モデル事業」を新潟県から受託し、新潟市、長岡市、上越市にパーソナル・サポート・センターの拠点を置き、就労支援・生活困窮者の支援などを行ってきました。

相談件数は、平成26年度の1年間だけでも、延べ1万件を超える支援を行ってきました。平成27年4月から生活困窮者自立支援法に基づき全国の自治体において、本格実施となりました。現在、県労福協は、新潟市、長岡市、上越市の他に、県内10町村の支援事業を新潟県から委託されています。

今後も相談支援員による伴走型支援を実現するとともに、これまでの機能をより拡充・強化し生活困窮者の自立に向けた支援を行っていきます。と同時に、この事業を通じて地域社会のネットワーク資源との連携をさらに強化した地域づくりをめざします。



2015にいがたワーク＆ライフフォーラム in 新潟

～連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて～

【日時】2015年9月26日(土)・27日(日)

【会場】新潟東映ホテルほか

【内容】全体集会、記念講演、交流会、セッション

新潟下町の
まち歩きも
あるよ【記念講演】「明るく、楽しく、そしてあきらめない生き方」
講師/辻井いつ子氏(ピアニスト辻井伸行さんの母)

日時/9月26日(土) 14:30~

入場無料/定員になり次第受付終了 ※申し込みが必要

多彩なセッション!!おススメは…
◎エッセイスト“ちやい文々”さんが登場する
トークセッション『働く女性の現状とホンネ(仮称)』プログラム、参加申込書は、関係団体・労働組合を通じて入手してください。またフォーラムの内容は、新潟ろうきん福祉財団のHPからもご覧いただけます。
<http://www.zaidan-hukushi.or.jp> ※7月下旬掲載予定

チャリティー文化講演会

講師 水谷 修 氏

中高校生の非行防止、薬物汚染拡大予防のための活動を精力的におこなっている夜回り先生！
新潟県内4カ所を縦断し熱く講演します。

開催日	会 場	問い合わせ先 (ろうきん各支店地区育成会)
10月 21日 (水)	新発田市民文化会館	新発田支店☎0254-22-3007
10月 22日 (木)	新潟ユニゾンプラザ	新潟南支店☎025-285-5311
10月 23日 (金)	妙高市文化ホール	新井支店☎0255-73-7111
10月 30日 (金)	十日町クロステン	十日町支店☎025-757-8300

詳細は決定次第、ろうきん各支店地区育成会よりご案内いたします。



(一財)新潟ろうきん福祉財団

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

☎ : 025-288-5273 e-mail : info@zaidan-hukushi.or.jp
HP : <http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

当面の主な活動予定

7月 16日 (木) よりそいホットライン研修会

21日 (火) 柏崎地区労福協総会

23日 (木) 生活困窮者支援事業長岡地域振興局打合せ

27日 (月) 日韓親善協会第1回理事会

30日 (木) 生活困窮者支援事業三条地域振興局打合せ

8月 4日 (火) 第3回フードバンクにいがた運営委員会

7日 (金) 東部ブロックLSC経験交流

8日 (土) ニ

18日 (火) フードバンクにいがた三役会議

20日 (木) 東部ブロック事業団体責任者会議

21日 (金) ニ

28日 (金) 第105回県労福協理事会

9月 1日 (火) 日韓親善協会定期総会

2日 (水) 第4回フードバンクにいがた運営委員会

4日 (金) 東部ブロック第9期福祉リーダー塾 (後期)

5日 (土) ニ ニ

8日 (火) 中央労福協奨学金問題研修会

17日 (木) 第4回地方労福協会議

19日 (土) 第25回勤労者駅伝大会

26日 (土) ワーク＆ライフフォーラムin新潟

10月 2日 (金) 第3期にいがた福祉リーダー塾 (後期)

3日 (土) ニ ニ

7日 (水) 第5回フードバンクにいがた運営委員会

16日 (金) 第9期東部ブロックリーダー塾 (修了式)

18日 (日) 柏崎地区自殺対策シンポジウム

19日 (月) 東部ブロック労福協第204回幹事会

21日 (水) フードバンクにいがた三役会議

27日 (火) 中央労福協LSC実務担当者会議

もしあなたが就職した企業で、一人ではなかなか解決できない労働問題が発生しても、
労働組合があれば、仲間と力を合わせて解決できます！就職前の不安を抱える就活生も
就職後「こんなはずじゃなかった！」と悩んでいる社会人も

まずは連合にご相談を！

※連合は、全国674万人の働く人たちでつくる労働組合です



フリーダイヤル

0120-154-052

いにうよ

れんごうに

秘密
厳守携帯電話
スマートフォン
からでも
OK!

日本労働組合総連合会新潟県連合会（連合新潟）



気軽に香港 フリープラン

4日間

旅行
出発日

8月20日木 出発
119,800円

旅行
代金

(2名様1室ツイン利用 おひとり様代金／大人・子ども代金同額)

最少催行
人員

6名様



たっぷり満喫 香港・マカオ

5日間

旅行
出発日

11月18日水 出発
129,800円

旅行
代金

(2名様1室ツイン利用 おひとり様代金／大人・子ども代金同額)

募集
人員

50名様

(最少催行人員 30名様)



11月出発コース

たっぷり満喫 香港・マカオ

5日間

ハーバー プラザ 8 ディグリーズ

Harbour Plaza 8 Degrees



九龍半島の東の付け根付近に位置する2009年オープンのホテルです。8ティグリーズ(8度)という名前が現すように、少し傾いて見えるデザインがマジックハウスみたいで印象的。尖沙咀エリアへの無料シャトルバスもあり繁華街へのアクセスも便利です。

- 食事／朝食4回、昼食2回、夕食3回（機内食除く）
- 添乗員／新潟空港より同行いたします
- 利用予定航空会社／大韓航空（KE）エコノミークラス
- 利用予定ホテル／ハーバーブラザ8ディグリーズ
- 一人部屋追加代金／36,000円（4泊分）
- 燃油不可逆費、現地空港税約12,500円（4月現在）は別途かかります（これらの代金は変動します）

日次	月 日	都市名	起床時間	交通工具	スケジュール	食事
1	11月18日 (水)	新 潟 ソウル 香港	9:30 12:00 13:45 16:50	KE 764 KE 601 専用車	新潟より大韓航空にてソウルへ。 ソウルにて乗り継ぎ、香港へ。 四川料理の夕食後、○ピクトリアビーチ 展望台より夜景観賞へ。 (香港泊)	朝食:X 昼食:機内 夕食:四川料理
2	11月19日 (木)	香港 在	終 日	専用車	香港 在 ○レバ尔斯ベイ ○スタンレー ●文武廟 ●免税店、民芸品などお買い物 ○繁華街ネイサンロードで自由散策 昼食は飲茶、夕食は広東料理をお楽しみ いただきます。 (香港泊)	朝食:ホテル 昼食:飲茶 夕食:広東料理
3	11月20日 (金)	香港 在	終 日		香港 在 ○オプショナルツアーなどでお楽しみ下さい。 (香港泊)	朝食:ホテル 昼食:X 夕食:X
4	11月21日 (土)	香港 マカオ 在	午 前 午 後	専用車 フェリー	香港 在 ○セントポール天主堂 ○彌敦道 セナド広場 ●マカオタワー ●ザビエル教会 ○エックタール試食体験 昼食はマカオ料理、夕食は香港へ乗り友好 パーティーにて北京ダックを含む北京料理を お楽しみいただきます。 (香港泊)	朝食:ホテル 昼食:マカオ料理 夕食:北京ダック
5	11月22日 (日)	香港 ソウル 在	午 前 午 後	専用車 KE 604 KE 763	到着後、空港へ。 香港より大韓航空にてソウルへ。 ソウルにて乗り継ぎ、新潟へ。 新潟空港到着後、解散。お疲れ様でした。 (下巻)	朝食:ホテル 昼食:機内 夕食:X

*上記行程は交通機関などの影響により、変更となる場合がございます。各行程内の記号は●入場 ○下巻

企画監修 新潟県労福協 連合新潟・労働金庫・総合生協

お問い合わせ・お申し込みは

[受託販売] 総合生協グループ 新潟県知事登録旅行業第2-321号 全国旅行業協会正会員

cope-travel-center

〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6 株式会社 コープサービス 総合旅行業務取扱管理者 高橋 実

■新潟営業所

■長岡営業所

■ 025-245-4110 ■ 0258-39-7730

【旅行企画・実施】

観光庁長官登録旅行業第289号

新潟交通株式会社

〒950-8544 新潟市中央区万代1丁目6番1号